

特集く 大学教育改革その1くにあたって

香川大学一般教育部主事

木原 溥 幸

「一般教育研究」が昭和46年10月に創刊されて以来、いよいよ第40号を迎えることになりました。これを記念して特集号を企画してはどうかとの意見が、「一般教育研究」編集委員会で作られ、時恰も大学審議会で一般教育を含めた大学教育のありかたが審議され、大学教育部会の「審議の概要(その2)」が出されたこともあり、「大学教育改革」を特集しようということになりました。そして昨年10月から今年にかけて「一般教育研究会」をもち、特集号の準備を進めてきました。

今年の2月に大学審議会は、一般教育と専門教育のカリキュラムの枠組みを大幅に簡素化し、大学4年間の一貫教育の実施を柱とした「大学教育の改善について」を答申しました。これを受けて従来の大学設置基準が大綱化され、7月1日から新しい大学設置基準が施行されました。これは昭和31年に省令化された大学設置基準を大きく変えるものであり、約半世紀にわたって実施されてきた戦後の大学教育の根本的な再検討が、これから行われようとしているといっても過言ではないと思われます。

大学審議会の大学教育部会における審議に対して、平成元年11月に本学一般教育部では一般教育検討委員会を設置し、その審議内容、とくに一般教育や自己評価に関して、また本学一般教育のありかたについて検討を進めてきましたが、その中で「一般教育研究室」の改組が取り上げられました。「一般教育研究室」は昭和46年2月の、一般教育部の正式設置の少し前に置かれていましたが、大学教育の中における一般教育の位置づけの明確化、また一般教育・専門教育の総合化などを図るために、昨年11月に「一般教育研究室」を「大学教育研究室」に改組し、「大学教育等研究」に関する研究活動を実施することにしました。

今年1月に研究員の公募を初め、現在、「大学教育の理念・目標に関する重

層的・多面的構造化 — 一般教育の理念・目標を中心にして — 」, 「主題別カリキュラムの構想 — 総合科目の発展として — 」など, 10の研究プロジェクトが研究活動を開始しており, 緊急を要するものは9月末にも中間報告的なものをまとめていただくことにしていますが, 最終的には平成5年3月に研究成果の「報告書」を作成する予定にしています。この研究プロジェクトの研究の中から香川大学における一般教育のあるべき姿が浮かび上がってくることでしよう。

一般教育部では先述した一般教育検討委員会を, この7月に一般教育改革構想委員会に改組し, 研究プロジェクトの成果を生かして一般教育カリキュラム改革の具体案を検討することにしていますし, また一般教育部運営協議会の下に教育課程等検討専門委員会が置かれ, 一般教育部と各学部の代表によって大学教育の中の一般教育のありかたが全学的に検討されることになりました。これまでの香川大学の一般教育の伝統を生かした, そして専門教育と総合化された一般教育の新しい枠組みを作り上げていかねばなりません。本特集を初めとして, 今後も「大学教育改革」の特集号を出す予定にしていますが, これからの一般教育の改革に少しでも寄与するところがあれば幸いです。

最後になりましたが, ご多忙のところ本特集号に玉稿をお寄せいただいた方々に心よりお礼を申し上げ, また編集にご苦労された編集委員の方々にも感謝致す次第です。